様式一

|  |
| --- |
|  |
| ＧＸ建設機械認定申請書 |
|  |
|  　　年　　月　　日　　　　 |
| 　　国土交通省 |
| 　　　 大臣官房参事官（イノベーション）　殿 |
|  　　　　　 　　　　 氏名又は名称 |
|  　　　　　 　　　　 （代表者の氏名）　　　　　　　 　　　　　 |
|  |
|  　　　　　　　　　 　住　所 |
|  |
| 　　ＧＸ建設機械の認定に関する規程第三条第一項に基づき、下記のとおりＧＸ建設機械の認定を申請します。 |
|
|
| 記 |
|  |
| １．申請に係る建設機械の型式及び規格 |
|  | 規格 | 建 設 機 械 の 名 称 |  |  |
|  | 型 式 |  |  |
|  | 同一の型式として処理できる範囲にある建設機械の呼称（カタログ名） |  |  |
|  | 標準バケット山積容量 （m3） |  |  |
| 最大吊り荷重 （ton） |  |
|  | 定格出力（kW/min-1） | / |  |
|  | 質　　　　　　　量　（kg） |  |  |
|  | 電力消費量評価値 |  |  |
|  |
| ２．認定適用日 |
|  |
| ３．問い合わせ先（所属、担当者、電話番号、メールアドレス） |
|  |
|  |

備考 (1)日付は、本書面を提出した年月日とする。

(2)建設機械の名称は、「電動ショベル」、「電動ホイールローダ」又は「電動ホイールクレーン」を記載すること。

(3)「同一の型式として処理できる範囲にある建設機械の呼称（カタログ名）」欄には全ての呼称（カタログ名）を記載すること。

(4)標準バケット山積容量は電動ショベル及び電動ホイールローダにおいてのみ記入し、その他においては「－」を記載すること。

(5)最大吊り荷重は電動ホイールクレーンにおいてのみ記入し、その他においては「－」を記載すること。

(6)電動アクチュエータの定格出力は、実際に使用する出力範囲及び時間において連続して使用可能な機械的軸出力又は機械的出力の値を記載すること。なお、電動アクチュエータが電動モータの場合は定格回転速度も記載すること。

(7)質量は、各仕様における質量ではなく、電力消費量評価値算定要領に基づく試験機械における質量を記載すること。

(8)電力消費量評価値の単位は、電動ショベルにおいては「kWh/標準動作」、電動ホイールローダにおいては「kWh/t」、電動ホイールクレーンにおいては「kW」として記載すること。

(9)問い合わせ先については、提出物について責任を有する者の連絡先を記入すること。

様式二の一

エネルギー消費性能に関する諸元表（電動ショベル）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 申請機械（記載例） |
| 建設機械の型式 | BH200-8 |
| 同等エネルギー消費性能範囲を別にする諸元 | 電動方式注1 | 有線式／バッテリ式 |
| 定格出力注2／定格回転速度 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ##.# kW(S##)/#### min-1走行用 ##.# kW(S##)/#### min-1 |
| 蓄電装置容量 | ###.# kWh |
| 外部電源規格注3 | 三相AC###V(50Hz)/###V(60Hz) |
| 蓄電装置の形式注4 | リチウムイオン |
| 油圧システム、主要油圧コンポーネント | 油圧ポンプ | 型式又は仕様注5 | ｷｸｹ GHI901-2 |
| 形式注6 | 可変容量ﾋﾟｽﾄﾝ式 |
| 回転速度注7 | ##### min-1 |
| 制御弁 | 型式又は仕様注5 | ｽﾌﾟｰﾙ径 ##φ　多連弁 |
| 設定圧注8 | ##.# MPa |

注1 有線式、バッテリ式、有線／バッテリ併用式等の別を記載する。

注2 油圧ポンプ用、ブーム用、アーム用、バケット用、旋回用、走行用などとして搭載している作業装置及び走行装

置を駆動する電動アクチュエータの定格出力を記載する。定格出力は、実際に使用する出力範囲及び時間において連続して使用可能な機械的軸出力又は機械的出力とし、S1～S10の別を記載する。S1～S10とはJIS C 4034-1に規定される使用の形式を指す。なお、電動アクチュエータが電動モータの場合は定格回転速度も記載する。

注3　有線式以外については「－」を記載する。

注4 鉛、リチウムイオン等の別を記載する。蓄電装置を搭載していない場合は、「－」を記載する。

注5　型式名がない場合は主な仕様を記載する。

注6　可変容量､定容量等の別、ピストン、ベーン、ギヤ等の別を記載する。

注7　定格回転時のポンプ回転数を記載する。

注8　主リリーフ弁設定圧を記載する。

様式二の二

エネルギー消費性能に関する諸元表（電動ホイールローダ）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 申請機械（記載例） |
| 建設機械の型式 | BH200-8 |
| 同等エネルギー消費性能範囲を別にする諸元 | 電動方式注1 | 有線式／バッテリ式 |
| 定格出力注2／定格回転速度 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ##.# kW(S##)/#### min-1走行用 ##.# kW(S##)/#### min-1 |
| 蓄電装置容量 | ###.# kWh |
| 外部電源規格注3 | 三相AC###V(50Hz)/###V(60Hz) |
| 蓄電装置の形式注4 | リチウムイオン |
| 油圧システム、主要油圧コンポーネント | 油圧ポンプ | 型式又は仕様注5 | ｷｸｹ GHI901-2 |
| 形式注6 | 可変容量ﾋﾟｽﾄﾝ式 |
| 回転速度注7 | ##### min-1 |
| 制御弁 | 型式又は仕様注5 | ｽﾌﾟｰﾙ径 ##φ　多連弁 |
| 設定圧注8 | ##.# MPa |
| 伝動部分の型式、形式、仕様 | 機械式の場合 | 変速装置 | 形式注9 | トルクフロー |
| ﾄﾙｸｺﾝﾊﾞｰﾀ（又は主ｸﾗｯﾁ）形式 | 3要素1段1相式 |
| 変速機形式 | 遊星歯車式(F3/R3) |
| 総減速比 | F1/F2/F3 | ##.#/##.#/##.# |
| R1/R2/R3 | ##.#/##.#/##.# |
| 油圧式(HST)の場合 | 油圧ポンプ | 型式又は仕様注5 | ｴｵｶ DEF567-8 |
| 形式注6 | 可変容量ﾋﾟｽﾄﾝ式 |
| 設定圧/回転速度注10 | ##.# MPa/#### min-1 |
| 油圧モータ | 型式又は仕様注5 | 斜板###cc/rev |
| 形式注6 | 可変容量ﾋﾟｽﾄﾝ式 |
| 減速装置 | 終減速装置形式 | 平歯車１段、遊星歯車１段式 |
| 総減速比 | ##.# |

注1 有線式、バッテリ式、有線／バッテリ併用式等の別を記載する。

注2 油圧ポンプ用、走行用、アーム用、バケット用などとして搭載している作業装置及び走行装置を駆動する電動ア

クチュエータの定格出力を記載する。定格出力は、実際に使用する出力範囲及び時間において連続して使用可能な機械的軸出力又は機械的出力とし、S1～S10の別を記載する。S1～S10とはJIS C 4034-1に規定される使用の形式を指す。なお、電動アクチュエータが電動モータの場合は定格回転速度も記載する。

注3　有線式以外については「－」を記載する。

注4 鉛、リチウムイオン等の別を記載する。蓄電装置を搭載していない場合は、「－」を記載する。

注5　型式名がない場合は主な仕様を記載する。

注6　可変容量､定容量等の別、ピストン、ベーン、ギヤ等の別を記載する。

注7　定格回転時のポンプ回転数を記載する。

注8　主リリーフ弁設定圧を記載する。

注9 トルコンパワーシフト（パワーシフト又はトルクフロー）、ロックアップ機構・トルクデバイダ機構の有無、ダ

イレクトパワーシフト（ハイドロシフト）、ダイレクトドライブ等

注10 主リリーフ弁設定圧とエンジン定格回転時のポンプ回転数を記載する。

様式二の三

エネルギー消費性能に関する諸元表（電動ホイールクレーン）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 申請機械（記載例） |
| 建設機械の型式 | BH200-8 |
| 同等エネルギー消費性能範囲を別にする諸元 | 電動方式注1 | 有線式／バッテリ式 |
| 定格出力注2／定格回転速度 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ##.# kW(S##)/#### min-1走行用 ##.# kW(S##)/#### min-1 |
| 作業時出力注3／定格回転速度 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ##.# kW(S##)/#### min-1ｳｲﾝﾁ用 ##.# kW(S##)/#### min-1 |
| 蓄電装置容量 | ###.# kWh |
| 外部電源規格注4 | 三相AC###V(50Hz)/###V(60Hz) |
| 蓄電装置の形式注5 | リチウムイオン |
| 油圧システム、主要油圧コンポーネント | 油圧ポンプ | 型式又は仕様注6 | ｷｸｹ GHI901-2 |
| 形式注7 | 可変容量ﾋﾟｽﾄﾝ式 |
| 回転速度注8 | ##### min-1 |
| 制御弁 | 型式又は仕様注6 | ｽﾌﾟｰﾙ径 ##φ　多連弁 |
| 設定圧注9 | ##.# MPa |

注1 有線式、バッテリ式、有線／バッテリ併用式等の別を記載する。

注2 油圧ポンプ用、ウインチ用、ブーム伸縮用、ブーム起伏用、旋回用、走行用などとして搭載している作業装置及び走行装置を駆動する電動アクチュエータの定格出力を記載する。定格出力は、実際に使用する出力範囲及び時間において連続して使用可能な機械的軸出力又は機械的出力とし、S1～S10の別を記載する。S1～S10とはJIS C 4034-1に規定される使用の形式を指す。なお、電動アクチュエータが電動モータの場合は定格回転速度も記載する。

注3 電費試験時の作業時最大出力を記載する。

注4　有線式以外については「－」を記載する。

注5 鉛、リチウムイオン等の別を記載する。蓄電装置を搭載していない場合は、「－」を記載する。

注6　型式名がない場合は主な仕様（油圧ポンプ；吐出量、制御弁；ｽﾌﾟｰﾙ径）を記載する。

注7　可変容量､定容量等の別、ピストン、ベーン、ギヤ等の別を記載する。

注8　定格回転時のポンプ回転数を記載する。

注9　主リリーフ弁設定圧を記載する。

様式三の一

|  |
| --- |
|  |
| 建設機械供給整備拠点表 |
|  |
|  　　年　　月　　日　　　　 |
| 　　国土交通省 |
| 　　　 大臣官房参事官（イノベーション）　殿 |
|  　　　　　 　　　　 氏名又は名称 |
|  　　　　　 　　　　 （代表者の氏名）　　　　　　　 　　　　　 |
|  |
|  　　　　　　　　　 　住　所 |
|  |
| ＧＸ建設機械の認定に関する規程第四条第一号イに基づき、建設機械の供給又は整備のための拠点は以下の表に該当することを証明します。 |
|  |
|  | 各地域管内 | 供給拠点又は整備拠点 | 　　　　　　 |
|  | 北海道地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  | 東北地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  | 関東地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  | 北陸地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  | 中部地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  | 近畿地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  | 中国地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  | 四国地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  | 九州地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  |  |
|  | 沖縄地域 | 拠点の所有者：拠点の名称：拠点の住所： |  |
|  |  |
|  |

　備考　(1)日付は、本書面を提出した年月日とする。

様式三の二

|  |
| --- |
|  |
| 登録教習機関に関する表 |
|  |
|  　　年　　月　　日　　　　 |
| 　　国土交通省 |
| 　　　 大臣官房参事官（イノベーション）　殿 |
|  　　　　　 　　　　 氏名又は名称 |
|  　　　　　 　　　　 （代表者の氏名）　　　　　　　 　　　　　 |
|  |
|  　　　　　　　　　 　住　所 |
|  |
| 　　ＧＸ建設機械の認定に関する規程第四条第一号ロに基づき、登録教習機関について下記の通り提出します。 |
|
|
| 記 |
|

|  |  |
| --- | --- |
| 登録教習機関の名称 |  |
| 所有者名 |  |
| 登録年月日 |  |
| 登録番号 |  |

 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

備考 (1)日付は、本書面を提出した年月日とする。

様式四

|  |
| --- |
| 建設機械同一証明書　　年　　月　　日　　国土交通省　　大臣官房参事官（イノベーション）　殿氏名又は名称(代表者の氏名)　　　　　　　　住　所　ＧＸ建設機械の認定に関する規程第五条第五項に基づき、下記の建設機械は当社で製造し、△△△△株式会社に供給していることを証明致します。記1. 当社における建設機械の名称及び型式
2. 供給先における建設機械の名称及び型式
 |

　備考　(1)日付は、本書面を提出した年月日とする。

様式五

|  |
| --- |
| 建設機械共同供給証明書　　年　　月　　日　　国土交通省　　大臣官房参事官（イノベーション）　殿氏名又は名称(代表者の氏名)　　　　　　　　住　所氏名又は名称(代表者の氏名)　　　　　　　　住　所氏名又は名称(代表者の氏名)　　　　　　　　住　所　ＧＸ建設機械の認定に関する規程第五条第六項に基づき、○○○株式会社、△△△株式会社、□□□株式会社の下記の建設機械は、共同で供給しようとするものであることを証明致します。記1. ○○○株式会社における建設機械の名称及び型式
2. △△△株式会社における建設機械の名称及び型式
3. □□□株式会社における建設機械の名称及び型式
 |

　備考　(1)日付は、本書面を提出した年月日とする。

様式六の一

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| ＧＸ建設機械認定申請書に係る記載事項変更申請書 |  |
|  |  |
|  　　年　　月　　日　　　　 |  |
| 　国土交通省 |  |
| 　　大臣官房参事官（イノベーション）　殿 |  |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名又は名称 |  |
|  　　　　　　（代表者の氏名）　　　　　　　　　 　　　 |  |
|  |  |
|  　　　　住　所 |  |
|  |  |
| ＧＸ建設機械の認定に関する規程第八条第一項に基づき、下記のとおり申請します。 |  |
| 　 |  |
|  |  |
| 記 |  |
|  |  |
|  １．申請に係る建設機械の名称及び型式 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ２．認定番号 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ３．変更事項および変更事由 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  ４．変更適用年月日 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ５．問い合わせ先（所属、担当者、電話番号、メールアドレス） |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  ６．その他必要な事項 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　備考　(1)日付は、本書面を提出した年月日とする。

(2)問い合わせ先については、提出物について責任を有する者の連絡先を記入すること。

様式六の二

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| ＧＸ建設機械認定申請書に係る記載事項変更届出書 |  |
|  |  |
|  　　年　　月　　日　　　　 |  |
| 　国土交通省 |  |
| 　　大臣官房参事官（イノベーション）　殿 |  |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名又は名称 |  |
|  　　　　　　（代表者の氏名）　　　　　　　　　 　　　 |  |
|  |  |
|  　　　　住　所 |  |
|  |  |
| ＧＸ建設機械の認定に関する規程第八条第三項に基づき、下記のとおり届け出ます |  |
| 　 |  |
|  |  |
| 記 |  |
|  |  |
|  １．届出に係る建設機械の名称及び型式 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ２．認定番号 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ３．変更事項および変更事由 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  ４．変更事項が生じた年月日 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ５．問い合わせ先（所属、担当者、電話番号、メールアドレス） |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  ６．その他必要な事項 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　備考　(1)日付は、本書面を提出した年月日とする。

(2)問い合わせ先については、提出物について責任を有する者の連絡先を記入すること。

様式七

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| ＧＸ建設機械製作等廃止届出書 |  |
|  |  |
|  　　年　　月　　日　　　　 |  |
| 　国土交通省 |  |
| 　　大臣官房参事官（イノベーション）　殿 |  |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名又は名称 |  |
|  　　　　　　（代表者の氏名）　　　　　　　　　 　　　 |  |
|  |  |
|  　　　　住　所 |  |
|  |  |
| ＧＸ建設機械の認定に関する規程第九条第一項に基づき、下記のとおり届け出ます。 |  |
| 　 |  |
|  |  |
| 記 |  |
|  |  |
|  １．申請に係る建設機械の名称及び型式（呼称(カタログ名)） |  |
|  |  |
|  |  |
|  ２．認定番号 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ３．認定日 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ４．製作等廃止年月日 |  |
|  |  |
|  |  |
|  ５．問い合わせ先（所属、担当者、電話番号、メールアドレス） |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  ６．その他必要な事項 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　備考　(1)日付は、本書面を提出した年月日とする。

(2)問い合わせ先については、提出物について責任を有する者の連絡先を記入すること。

様式八

**８０ｍｍ～１５０ｍｍ**

（見本）



（見本）

参考資料１

電力評価値測定機械の型式、仕様及び装備品一覧（電動ショベル）

|  |
| --- |
| 仕 様 |
| 諸 元 | 記載例 |
| 型式 | ABC100-D |
| 測定機械の呼称（カタログ名） | AAA100B-DL |
| 測定機械の機械質量 | ##.#kg |
| 駆動用電動アクチュエータの型式注１ | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ｴｵｶ DEF67-8走行用　ｻｼｽ JKL77-7 |
| 定格出力注２／定格回転速度 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ##.# kW(S##)/#### min-1走行用 ##.# kW(S##)/#### min-1 |
| 油圧式又は一部油圧式を用いる場合 | 油圧ポンプ形式注３ | 可変容量ピストン式 |
| 旋回油圧モータ形式注３ | 固定容量ピストン式 |
| 走行油圧モータ形式注３ | 可変容量ピストン式 |
| 電動式又は一部電動式を用いる場合 | 油圧ポンプ用電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 旋回用電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 走行用電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| シリンダ用電動アクチュエータ形式注４ | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 装　備　品 |
| バケット | 作業機の形式注５ | 標準バケット |
| 容量（山積） | （山積）#.#m3 |
| その他特別な装備注６ | 強化型リンク |
| アーム | アームの形式注７ | 標準アーム/#.# m |
| その他特殊な装備注８ | へこみ防止プレート |
| ブーム | ブームの形式注９ | 標準ブーム/#.# m |
| その他特殊な装備注１０ | クレーン兼用タイプ |
| 上部旋回体 | 特殊な装備注１１ | 増量（0.4t）カウンタウエイト |
| キャブ等の特殊な装備注１２ | キャブ、ROPS |
| 足回りの種類注１３ | 湿地シュー／### mm |
| 強化・安全装備注１４ | フルトラックガード |
| 標準型・超小旋回形・後方小旋回形の区別 | 標準型 |
| その他の装備品注１５ | 建機遠隔稼働管理システム |
| 充電装置（別置形） | 充電方式注１６ | 電流制御方式 |
| 入力（相数/電圧） | 3相/200V |
| トランス容量（50/60Hz） | ####/\*\*\* KVA |

注1 油圧ポンプ用、ブーム用、アーム用、バケット用、旋回用、走行用などとして搭載している作業装置及び走行装置を駆動する電

動アクチュエータの型式を記載する。

注2 定格出力は、実際に使用する出力範囲及び時間において連続して使用可能な機械的軸出力又は機械的出力とし、S1～S10の別を

記載する。S1～S10とはJIS C 4034-1に規定される使用の形式を指す。なお、電動アクチュエータが電動モータの場合は定格回転速度も記載する。

注3　可変容量､定容量等の別、ピストン、ベーン、ギヤ等の別を記載する。

注4 ブーム用、アーム用、バケット用などとして搭載している作業装置を駆動する電動アクチュエータの形式を記載する。

注5 標準バケット、岩用バケット、強化バケット等。

注6 強化型リンク等。

注7 標準アーム、強化アーム等。

注8 へこみ防止プレート、クレーン兼用タイプ、アタッチメント用配管付等。

注9 標準ブーム、強化ブーム、側溝掘ブーム、スィングブーム等。

注10 クレーン兼用タイプ、アタッチメント用配管付等。

注11 増量（ t）カウンタウエイト等。

注12 ROPS、OPG（フロントガード、トップガード）、キャノピ等。

注13 幅広シュー、湿地シュー、ゴムクローラ、パットシュー、ロングトラック、ワイドゲージ、ナローゲージ等。

注14 フルトラックガード、レボフレームデッキガード、レボフレーム強化アンダーカバー、キャブ強化ガード、後方カメラ等。

注15 建機遠隔稼働管理システム、マルチコントロール、マシンセキュリティシステム等。

注16 電流制御方式、自動準定電圧方式等の別を記載する。

※　記載する事項が無い項目には、「－」を記載する。

参考資料２

電力評価値測定機械の型式、仕様及び装備品一覧（電動ホイールローダ）

|  |
| --- |
| 仕 様 |
| 諸 元 | 記載例 |
| 型式 | ABC100-D |
| 測定機械の呼称（カタログ名） | AAA100B-DL |
| 測定機械の機械質量 | ##.#kg |
| 駆動用電動アクチュエータの型式注１ | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ｴｵｶ DEF67-8走行用　ｻｼｽ JKL77-7 |
| 定格出力注２／定格回転速度 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ##.# kW(S##)/#### min-1走行用 ##.# kW(S##)/#### min-1 |
| 作業機操作用の油圧システム、主要油圧コンポーネント | 油圧ポンプ形式注３ | 可変容量ﾋﾟｽﾄﾝ式 |
| 電動式又は一部電動式を用いる場合 | 油圧ポンプ用電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 走行用電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| シリンダ用電動アクチュエータ形式注４ | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 機械式又は一部機械式を用いる場合 | 変速装置 | 形式注５ | トルクフロー |
| ﾄﾙｸｺﾝﾊﾞｰﾀ（又は主ｸﾗｯﾁ）形式 | 3要素1段1相式 |
| 変速機形式 | 常時かみあい式(F4/R4) |
| 終減速装置 | 遊星歯車１段式 |
| 油圧式（HST）の場合 | 油圧ポンプ形式注３ | 可変容量ﾋﾟｽﾄﾝ式 |
| 油圧モータ形式注３ | 可変容量ﾋﾟｽﾄﾝ式 |
| 終減速装置形式 | 遊星歯車１段式 |
| 装 備 品 |
| 作業装置の形式 | フロントリンク機構の種類 | 標準型 |
| バケット | 形式注６ | 標準バケット |
| 容量 | 3.0m3 |
| その他特殊な装備等注７ | クイックカプラ |
| タイヤの種類注８ | 標準タイヤ |
| キャブ等の特殊な装備注９ | キャブ、ROPS |
| 強化・安全装備注１０ | アンダーガード |
| その他の装備品注１１ | 建機遠隔稼働管理システム |
| 充電装置（別置形） | 充電方式注１２ | 電流制御方式 |
| 入力（相数/電圧） | 3相/200V |
| トランス容量（50/60Hz） | ####/\*\*\* KVA |

注1 油圧ポンプ用、走行用、アーム用、バケット用などとして搭載している作業装置及び走行装置を駆動する電動アクチュエータの

型式を記載する。

注2 定格出力は、実際に使用する出力範囲及び時間において連続して使用可能な機械的軸出力又は機械的出力とし、S1～S10の別を

記載する。S1～S10とはJIS C 4034-1に規定される使用の形式を指す。なお、電動アクチュエータが電動モータの場合は定格回転速度も記載する。

注3 可変容量､定容量等の別、ピストン、ベーン、ギヤ等の別を記載する。

注4 アーム用、バケット用などとして搭載している作業装置を駆動する電動アクチュエータの形式を記載する。

注5 トルコンパワーシフト（パワーシフト又はトルクフロー）、ロックアップ機構・トルクデバイダ機構の有無、ダイレクトパワー

シフト（ハイドロシフト）、ダイレクトドライブ等。

注6 標準バケット、ライトマテリアルバケット、マルチパーパスバケット、ロックバケット等。

注7 クイックカプラ、反転エッジ、油圧装置（３バルブ、４バルブ）、ハイリフトアーム等。

注8 標準タイヤ、ワイドタイヤ、ロックタイヤ等。

注9 キャブ、ROPS、FOPS、キャノピ等。

注10 アンダーガード、リアフルフェンダー、セカンダリィステアリング等。

注11 建機遠隔稼働管理システム、故障診断機能付モニタ、オートライドコントロールシステム、スピードセレクタ、スロットルリミ

ット、リミテッドスリップデフ、マシンセキュリティシステム、リモートグリース、増量（ kg）カウンタウエイト等。

注12 電流制御方式、自動準定電圧方式等の別を記載する。

※ 記載する事項が無い項目には、「－」を記載する。

参考資料３

電力評価値測定機械の型式、仕様及び装備品一覧（電動ホイールクレーン）

|  |
| --- |
| 仕　　様 |
| 諸　　元 | 記載例 |
| 型式 | ABC100-D |
| 測定機械の呼称（カタログ名） | 　AAA100B-DL |
| 測定機械の機械質量 | ##.#kg |
| 駆動用電動アクチュエータの型式注1 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ｴｵｶ DEF67-8走行用　ｻｼｽ JKL77-7 |
| 定格出力注2／定格回転速度 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ##.# kW(S##)/#### min-1走行用 ##.# kW(S##)/#### min-1 |
| 作業時出力注3／定格回転速度 | 油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 ##.# kW(S##)/#### min-1ｳｲﾝﾁ用 ##.# kW(S##)/#### min-1 |
| 油圧式又は一部油圧式を用いる場合 | 油圧ポンプ形式注4 | 可変容量ピストン式 |
| 旋回油圧モータ形式注4 | 固定容量ピストン式 |
| 主巻上げ油圧モータ形式注4 | 可変容量ピストン式 |
| 電動式又は一部電動式を用いる場合 | 油圧ポンプ用電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 旋回用電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 主巻上げ電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 走行用電動アクチュエータ形式 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| シリンダ用電動アクチュエータ形式注5 | 三相交流同期形永久磁石式 |
| 装備品 |
| ブーム | ブームの形式注6 | 箱型４段油圧伸縮式 |
| ブーム長さ | ９．３５～３０．５ｍ |
| ジブ | ジブの形式注7 | 箱型２段油圧起伏伸縮式 |
| ジブ長さ注8 | ８．０・１３．０ｍ |
| キャリア | 走行の形式注9 | 電動機 |
| 走行軸数注10 | ２軸 |
| アウトリガ | アウトリガの形式注11 | Ｘ型油圧式 |
| 主巻き／補巻きフック注12 | ２５ｔ／４．９ｔ |
| 安全装備注13 | バックモニター |
| その他の装備品注14 | 建機遠隔稼働管理システム |
| 充電装置（別置形） | 充電方式注１5 | 電流制御方式 |
| 入力（相数/電圧） | 3相/200V |
| トランス容量（50/60Hz） | ####/\*\*\* KVA |

注1 油圧ポンプ用、ウインチ用、ブーム伸縮用、ブーム起伏用、旋回用、走行用などとして搭載している作業装置及び走行装置を駆動する電動アクチュエータの型式を記載する。

注2 定格出力は、実際に使用する出力範囲及び時間において連続して使用可能な機械的軸出力又は機械的出力とし、S1～S10の別を記載する。S1～S10とはJIS C 4034-1に規定される使用の形式を指す。なお、電動アクチュエータが電動モータの場合は定格回転速度も記載する。

注3 電費試験時の作業時最大出力を記載する。

注4　可変容量、定容量等の別、ピストン、ベーン、ギヤ等の別を記載する。

注5　ブーム伸縮用、ブーム起伏用などとして搭載している作業装置を駆動する電動アクチュエータの形式を記載する。

注6　箱型４段油圧起伏伸縮式、箱型３段油圧起伏ロープ伸縮式等。

注7　箱型２段油圧起伏伸縮式、箱形３段油圧伸縮式、ラチス式等。

注8　８・１３ｍ、８～１３ｍ。

注9　電動機、トルクコンバータ、ＨＳＴ等。

注10　２軸、３軸、４軸等。

注11　Ｘ型油圧式、Ｈ型油圧式

注12　４．９ｔ、１３ｔ、２０ｔ、２５ｔ、３５ｔ、５０ｔ、７０ｔフック等。

注13　バックモニター等。

注14　建機遠隔稼働管理システム等。

注15　電流制御方式、自動準定電圧方式等の別を記載する。

※　記載する事項がない項目には、「－」を記載する。